

2020年度第1四半期連結業績概要

代表取締役社長兼CEO

谷内 樹生

常務執行役員 経営管理担当兼 CFO兼 財務・管理本部長

越路 和朗

執行役員 中国R&Dスーパーバイザー

森島 健司

2020年8月5日

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なりリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

基本理念とWORLD VISION

基本理念

天機に参与する

自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するという
ことを意味しています。*

WORLD VISION

Happiness with Vision

世界中の一人ひとりが、Best Vision Experience を通じて
それぞれの最も幸福な人生を実現する世界を創り出したい。

* 中国の古典「中庸」の一節を参天が独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。

2020年度第1四半期 ハイライト

1. 売上収益：576億円、コア営業利益：117億円

進捗は想定通り

2. 米国参入に向けた着実な進捗

患者さんへの新たな価値提供を目指し、
DE-128申請完了

3. 長期ビジョンに沿った新たな施策

jCyte社・Plano社・Osmotica社との
提携による未充足ニーズへの対応



眼の専門企業としての新型コロナウイルス感染症対応サポート

スリットランプ シールドの寄附



一般向け アイケア情報の提供

Santen
20,677 followers
4週間前 · 編集済み

As we all continue to adapt to a world with COVID-19, it's important for us to consider our eye health, particularly in this time of increased dependence on technology and greater exposure to LCD screens. Check out our tips below!

#ophthalmology #coronavirus #eyehealth

The impact of the pandemic means that many more of us are working on computers from home...

Santen

医療関係者向け Webinar実施

Santen
A Clear Vision For Life®



WEBINAR
Treating Glaucoma Patients During
COVID-19

A case-based webinar to provide up-to-date guidance in the management of glaucoma patients during COVID-19

Santenが目指すNew Normalに向けた働き方

時間や場所にとらわれない働き方



テクノロジーの活用



オフィスのあり方



2020年度第1四半期 連結決算概要

2020年度第1四半期業績

新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、業績はほぼ想定通りの着地

(単位：億円)	2019年度 第1四半期		2020年度 第1四半期		対前期 増減率
	実績	(対売上収益 比率)	実績	(対売上収益 比率)	
売上収益	591		576		-3%
売上原価	241	41%	247	43%	+3%
売上総利益	350	59%	328	57%	-6%
販売管理費	160	27%	156	27%	-3%
研究開発費	62	10%	56	10%	-9%
コア営業利益	128	22%	117	20%	-9%
製品に係る無形資産償却費	25	4%	24	4%	-1%
その他の収益	1	0%	2	0%	+75%
その他の費用	12	2%	14	2%	+17%
営業利益(フルベース)	92	16%	80	14%	-13%
金融収益	4	1%	5	1%	+20%
金融費用	7	1%	2	0%	-73%
税引前四半期利益	90	15%	84	15%	-7%
法人所得税費用	26	4%	22	4%	-14%
(負担税率)	29.0%		26.7%		
四半期利益 (フルベース)	64	11%	61	11%	-4%
コア当期利益	97	16%	88	15%	-9%
USD (円)	109.86		107.46		
EUR (円)	123.06		118.69		
CNY (円)	16.14		15.13		

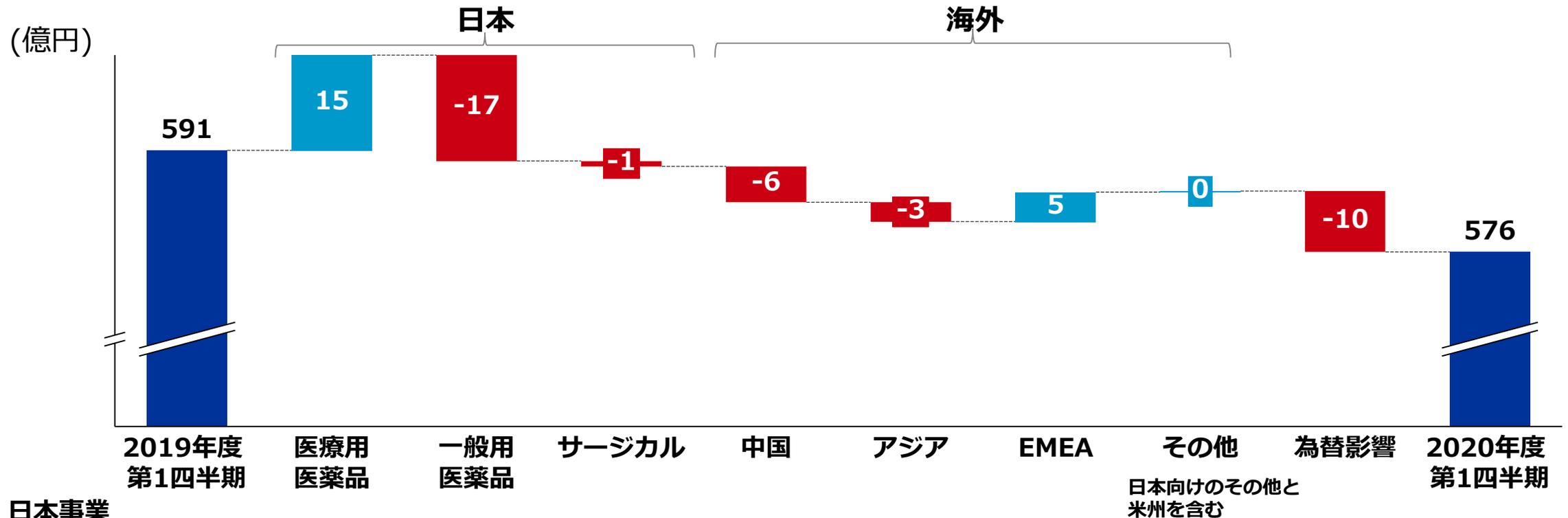
コアベース

- 売上：ほぼ想定通りの推移
- コア営業利益：活動費用の抑制により20%台の利益率を維持

グループ内の法人の利益構成比の変動等により、税負担率が前年同期より減少

2020年度第1四半期 売上収益（前年同期比）

各事業は想定通りに進捗、回復基調へ



日本事業

- 医療用医薬品：順調に推移したアイリーア*やアレジオンLXの寄与により増収
- 一般用医薬品：新型コロナウイルス感染症の影響（インバウンド需要減など）の落ち込みにより減収

海外事業

- 中国事業：新型コロナウイルス感染症の影響により減収（為替影響除き：-8%）。想定以上に回復基調。
- アジア事業：同上により減収（為替影響除き：-7%）。韓国・台湾・タイはほぼ平常へ。
- EMEA事業：コソプトやタプロスが堅調に推移、為替影響除くと+5%の増収。

2020年度通期業績予想：5月8日開示から変更なし

効率的な経費運営により増益を目指す

(単位：億円)	2019年度		2020年度		対前期 増減率
	実績	(対売上収益 比率)	予想	(対売上収益 比率)	
売上収益	2,416		2,350		-3%
売上原価	948	39%	900	38%	-5%
売上総利益	1,467	61%	1,450	62%	-1%
販売管理費	734	30%	700	30%	-5%
研究開発費	233	10%	230	10%	-1%
コア営業利益	500	21%	520	22%	+4%
製品に係る無形資産償却費	99	4%	97	4%	-2%
その他の収益	4	0%	9	0%	+131%
その他の費用	70	3%	82	3%	+17%
営業利益(フルベース)	335	14%	350	15%	+4%
金融収益	10	0%	8	0%	-16%
金融費用	24	1%	10	0%	-58%
持分法による投資損失	--	--	8	0%	--
税引前当期利益	321	13%	340	14%	+6%
法人所得税費用	104	4%	110	5%	+6%
(負担税率)	32.3%		32.4%		
当期利益 (フルベース)	217	9%	230	10%	+6%
コア当期利益	359	15%	387	16%	+8%
USD (円)	108.81		110.00		
EUR (円)	120.80		120.00		
CNY (円)	15.64		15.00		

コアベース

- 売上：新型コロナウイルス感染症の影響を見込む
- 営業利益：新型コロナウイルス感染症の影響による活動抑制・費用の見直しにより増益

研究開発の現状

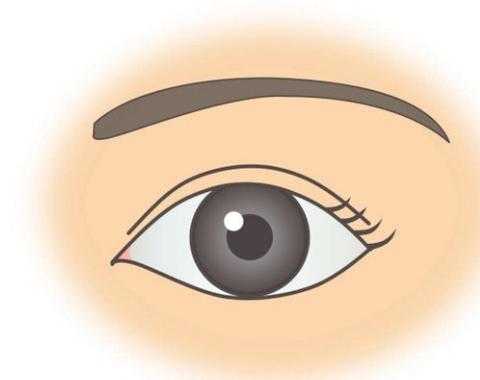
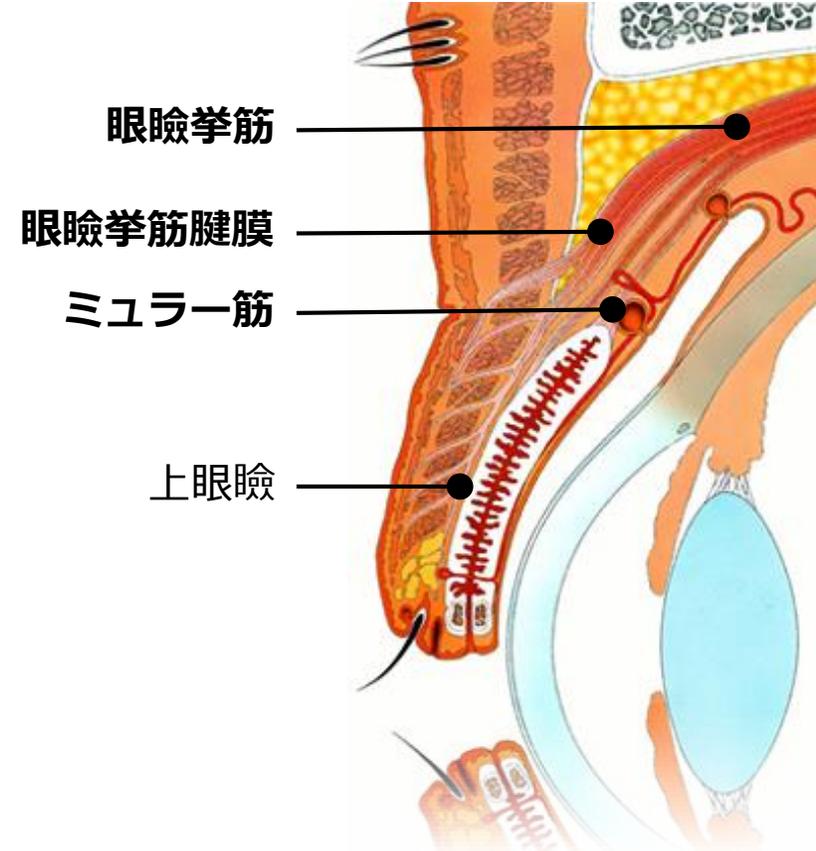
Osmotica社提携：後天性眼瞼下垂

一般的に加齢により起こり、現在の治療は手術のみ

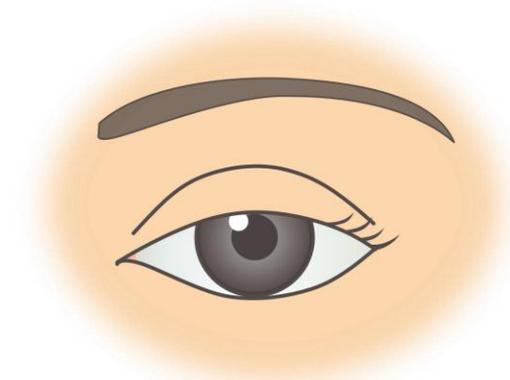
目を開いたときに上眼瞼縁が
正常な位置より下がった状態

▶ **周辺視野の欠損
肩こり、頭痛、疲れる等**

- ◆ 後天性で最も多い原因は**加齢**
- ◆ 50歳以上の約**1割**が罹患¹
- ◆ 現在の治療は**手術**



正常



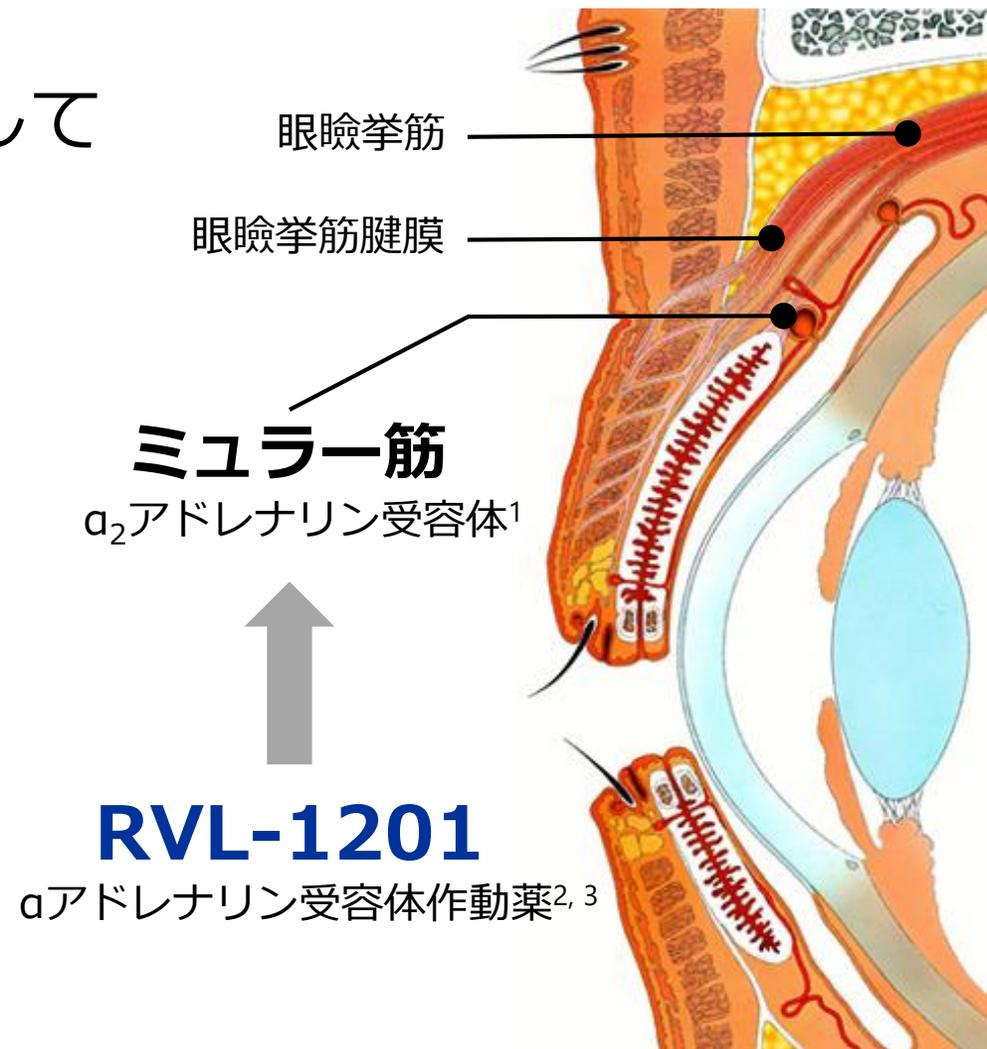
眼瞼下垂

Osmotica社提携：RVL-1201

日本、中国、アジア、欧州での開発を予定

2020.7 成人の後天性眼瞼下垂治療薬として
Osmotica社がFDA承認を取得

- オキシメタゾリン塩酸塩0.1%点眼液
- 1日1回点眼
- 防腐剤フリー
- 米国P3で、上方視野およびMRD-1（瞳孔中央と上眼瞼縁の距離）の改善を確認



研究開発の現状

(2020年7月現在)
下線部は更新情報。

パイプライン/製品の開発状況①

	効能・効果	開発地域	開発状況
DE-111 STN10111 タブコム / タブティコム タフルプロスト・ チモロールマレイン酸塩配合剤	緑内障・ 高眼圧症	中国	現状：P3 計画： <u>2022年度 P3終了</u>
DE-117 STN10117 エイベリス EP2受容体作動薬	緑内障・ 高眼圧症	米国	現状：P3 計画： <u>2020年度 申請</u>
		日本	現状：上市
		アジア	現状：承認 計画： <u>2020年度 上市</u>
DE-126 STN10126 FP / EP3受容体 デュアル作動薬	緑内障・ 高眼圧症	米国	現状：P2b (至適用量探索完了) 計画： <u>2020年度 追加P2開始</u>
		日本	
DE-128 <i>PRESERFLO MicroShunt</i>	緑内障	米国	現状： <u>2020年6月 市販前承認 (PMA) の段階的申請完了</u> 計画： <u>2020年度 承認、2020年度 上市</u>
		欧州	現状：上市
		アジア	現状：申請 計画： <u>2020年度 承認</u>

研究開発の現状

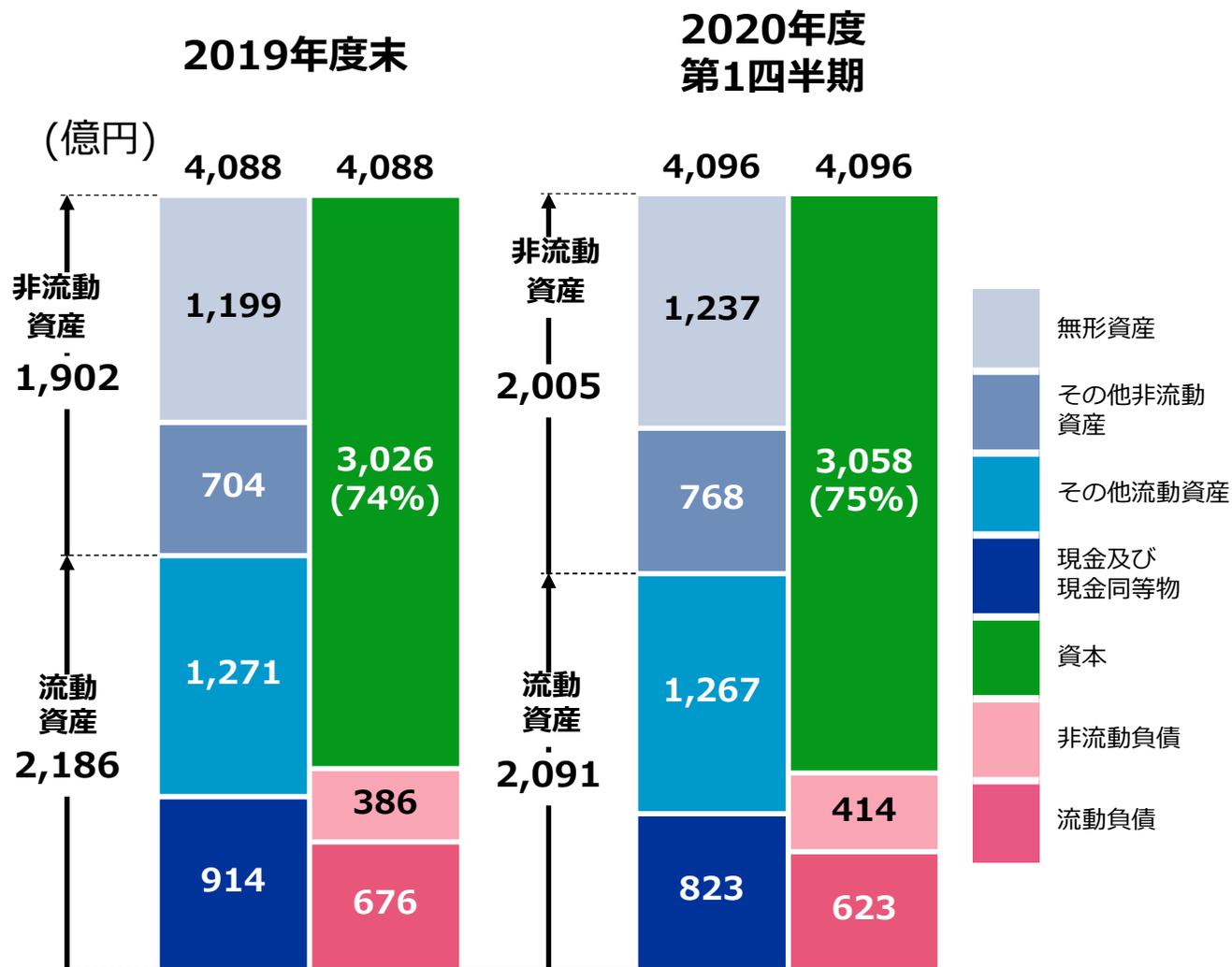
パイプライン/製品の開発状況②

(2020年7月現在)
下線部は更新情報。

	効能・効果	開発地域	開発状況
DE-130A STN10130 Catioprost ラタノプロスト	緑内障・ 高眼圧症	欧州	現状：P3 計画：2021年度 P3終了
		アジア	
DE-109 STN10109 シロリムス 硝子体内注射剤	ぶどう膜炎	米国	現状：P3 計画：2022年度 P3終了
		日本	現状：P3
		欧州	現状：P3
		アジア	現状：申請
DE-127 STN10127 アトロピン硫酸塩	近視	日本	現状：P2/3 計画：2023年度 P2/3終了
		アジア	現状：P2（主要評価項目達成）
MD-16 眼内レンズ	白内障	日本	現状：承認 計画：2020年度 上市

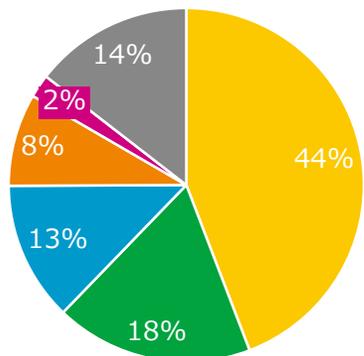
Appendix

2020年度第1四半期 財政状態の推移



2020年度第1四半期 仕向地域別売上収益

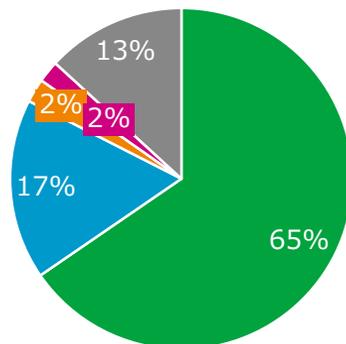
日本



アイリーア* 硝子体内注射液	168 億円
アレジオン点眼液 (LX含む)	30 億円
ジクアス点眼液	30 億円
その他	152 億円
合計	380 億円

アイリーア*：製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品

EMEA

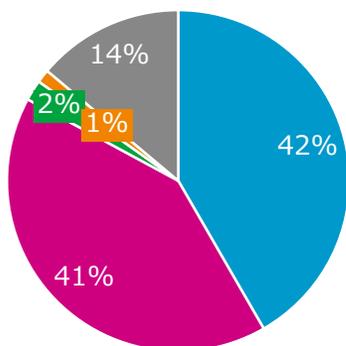


コソプト配合点眼液	25 億円
タブロス点眼液	17 億円
Oftan Catachrom	9 億円
その他	45 億円
合計	96 億円

主要国・地域別売上比率

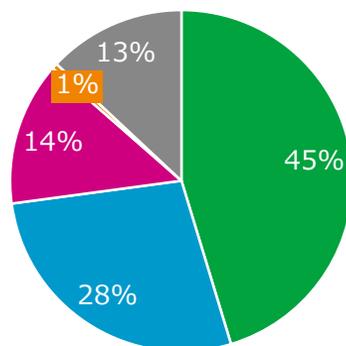


中国

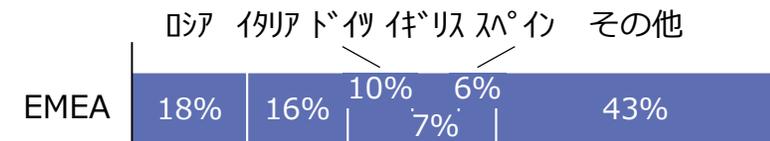


ヒアレイン点眼液	23 億円
クラビット点眼液	22 億円
フルメトロン点眼液	3 億円
その他	9 億円
合計	58 億円

アジア



コソプト配合点眼液	10 億円
ジクアス点眼液	5 億円
タブロス点眼液	5 億円
その他	20 億円
合計	40 億円



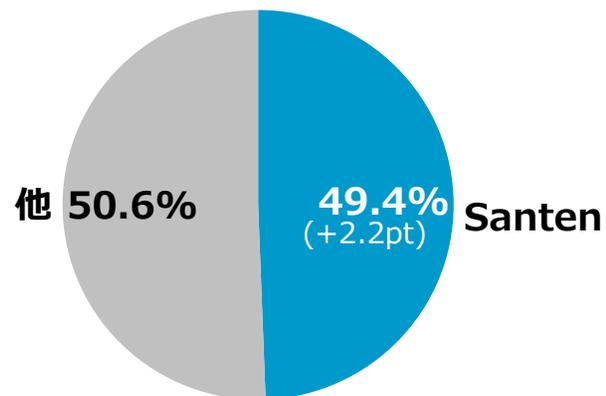
■ 眼科用抗VEGF阻害剤
 ■ 緑内障治療薬/デバイス
 ■ 角結膜疾患治療剤
 ■ 抗アレルギー点眼剤
 ■ 抗菌点眼剤
 ■ その他

国内医療用眼科薬 市場概況（2019年7月-2020年6月累計）

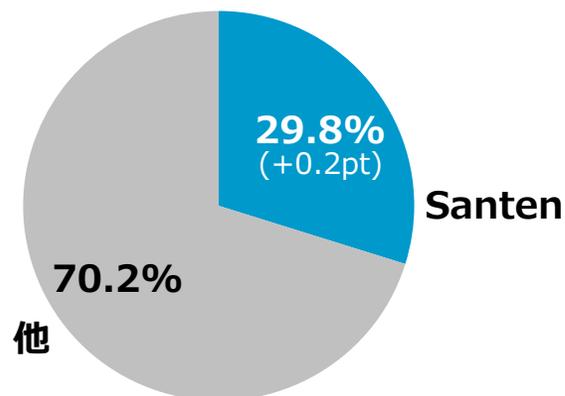
全ての領域において引き続きNo.1を維持

領域右記載数値：市場規模
グラフ：マーケットシェア（括弧内は対前年増減）

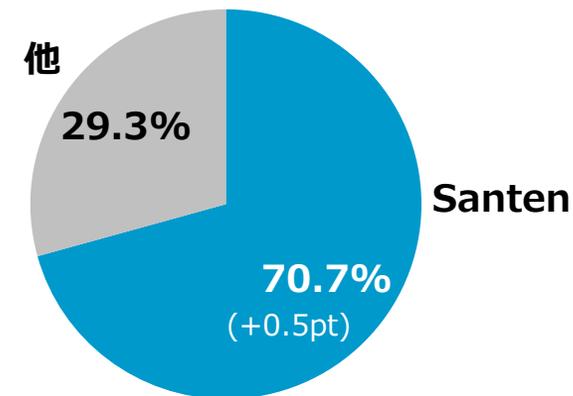
Total : 3,718億円



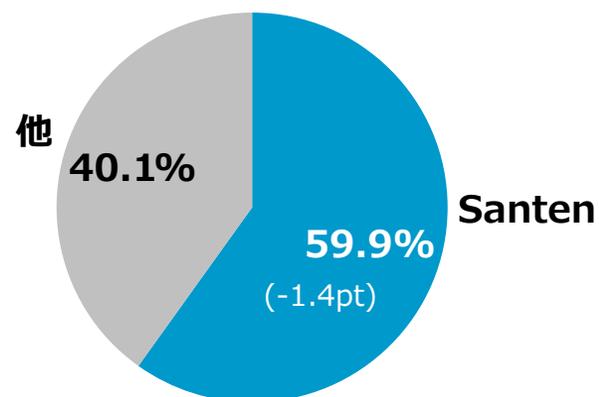
抗緑内障剤 : 1,069億円



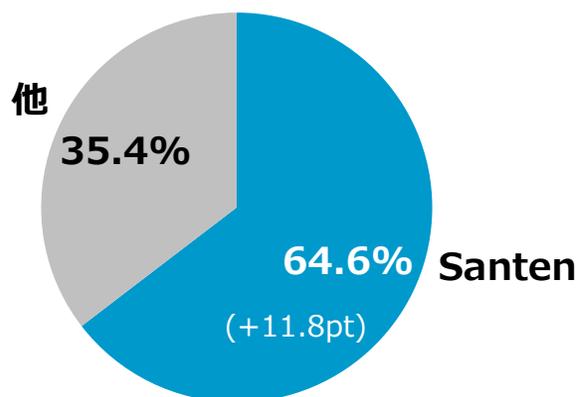
網膜疾患治療剤* : 1,061億円



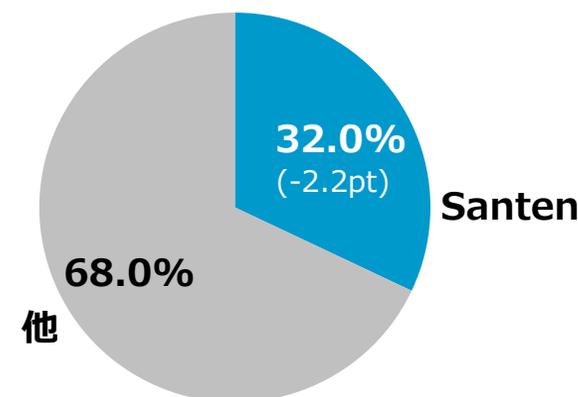
角膜疾患治療剤 : 448億円



抗アレルギー剤 : 492億円



抗菌点眼剤 : 106億円





Imagine Your Happiness

あなたのあしたを想う